

# 茜町春彦

日本文学英訳化計画

「萩原幸朝太郎：

「死なな小蝸」

日本文学英訳化計画

『萩原朔太郎：死なない蛸』

絵・訳：茜町春彦

原作：萩原朔太郎

概要：萩原朔太郎の散文詩を絵本にしました。日本語表記は新仮名遣いに変更しました。

A Project for English Translation of Japanese Literature

Title : "An Undead Octopus"

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko.

Original author : Hagiwara Sakutaro



For a long time, a starving octopus was kept in a water tank of an aquarium.

Mournfully, there were always rays through the pale glass ceiling in the muted shade of rocks in the basement.

或る水族館の水槽で、ひさしい間、飢えた蛸が飼われていた。

地下の薄暗い岩の影で、青ざめた玻璃天井の光線が、いつも悲しげに漂っていた。



No one remembered the dim water tank.

The octopus was thought to have died long before that.

And, in the dusty sunlight, only the rotten sea water had always filled the tank with the glass window.

だれも人々は、その薄暗い水槽を忘れていた。

もう久しい以前に、蛸は死んだと思われていた。

そして腐った海水だけが、埃っぽい日ざしの中で、いつも硝子窓の槽にたまっていた。

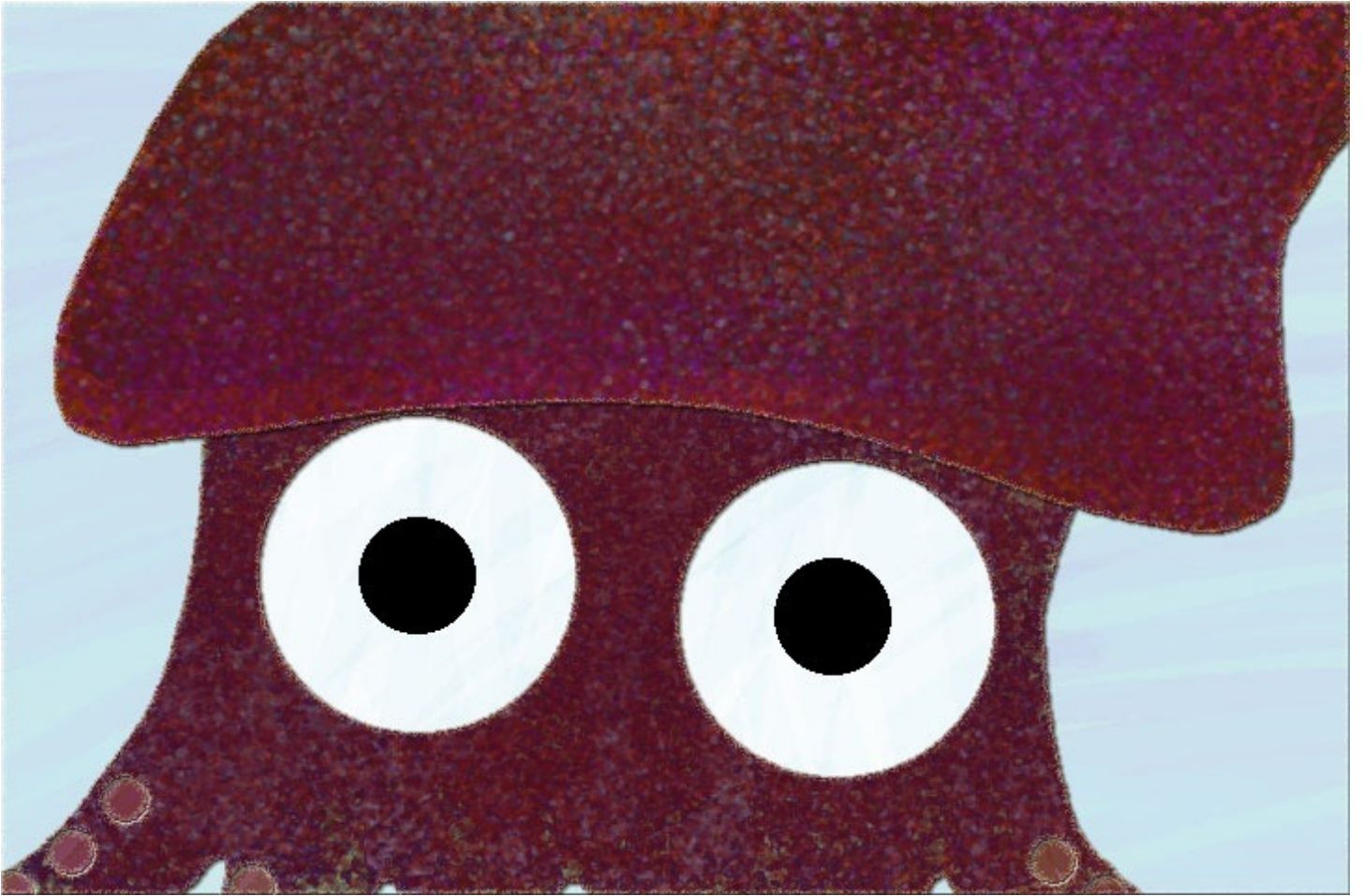


But, the creature had not been dead.

The octopus had hidden behind a rock.

けれども動物は死ななかつた。

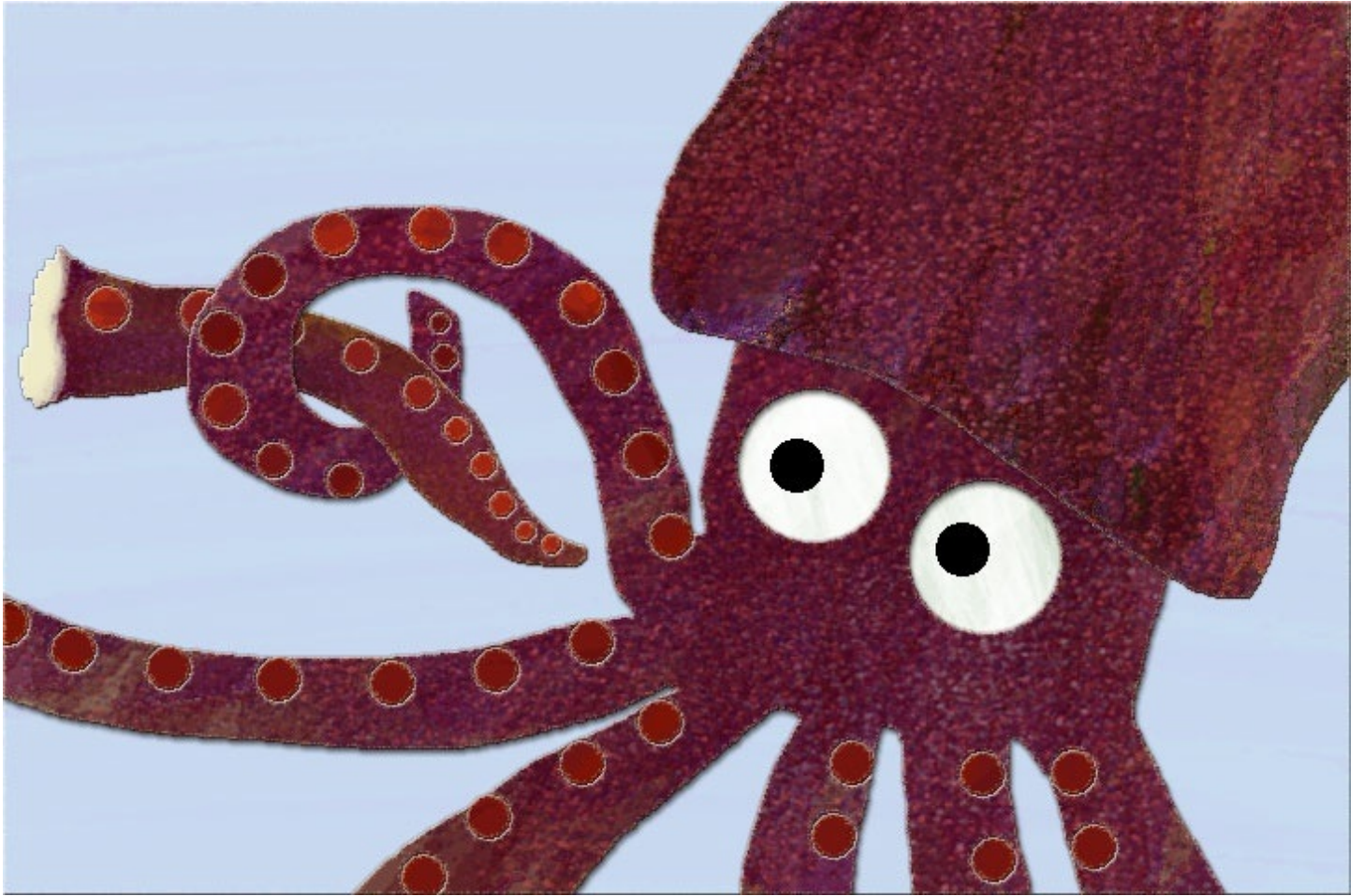
蛸は岩影にかくれて居たのだ。



He awoke.

And then, he had to suffer terrible hunger in the unhappy and forgotten tank for many days.

そして彼が目を覚ました時、不幸な、忘れられた槽の中で、幾日も幾日も、おそろしい飢餓を忍ばねばならなかった。



The feed was nowhere to be found.

And, the food ran out completely.

And then, he plucked off his arms and ate them.

At first, one.

And, next.

Finally, he finished them.

どこにも餌食がなく、食物が全く尽きてしまった時、彼は自分の足をもいで食った。

まずその一本を。

それから次の一本を。

それから、最後に、それがすっかりおしまいになった時・・・





And then, he turned his body inside out.

And he started to eat a part of his guts, bit by bit, from a part to the other part, successively.

・・・今度は胴を裏がえして、内臓の一部を食いはじめた。

少しずつ、他の一部から一部へと。

順々に。



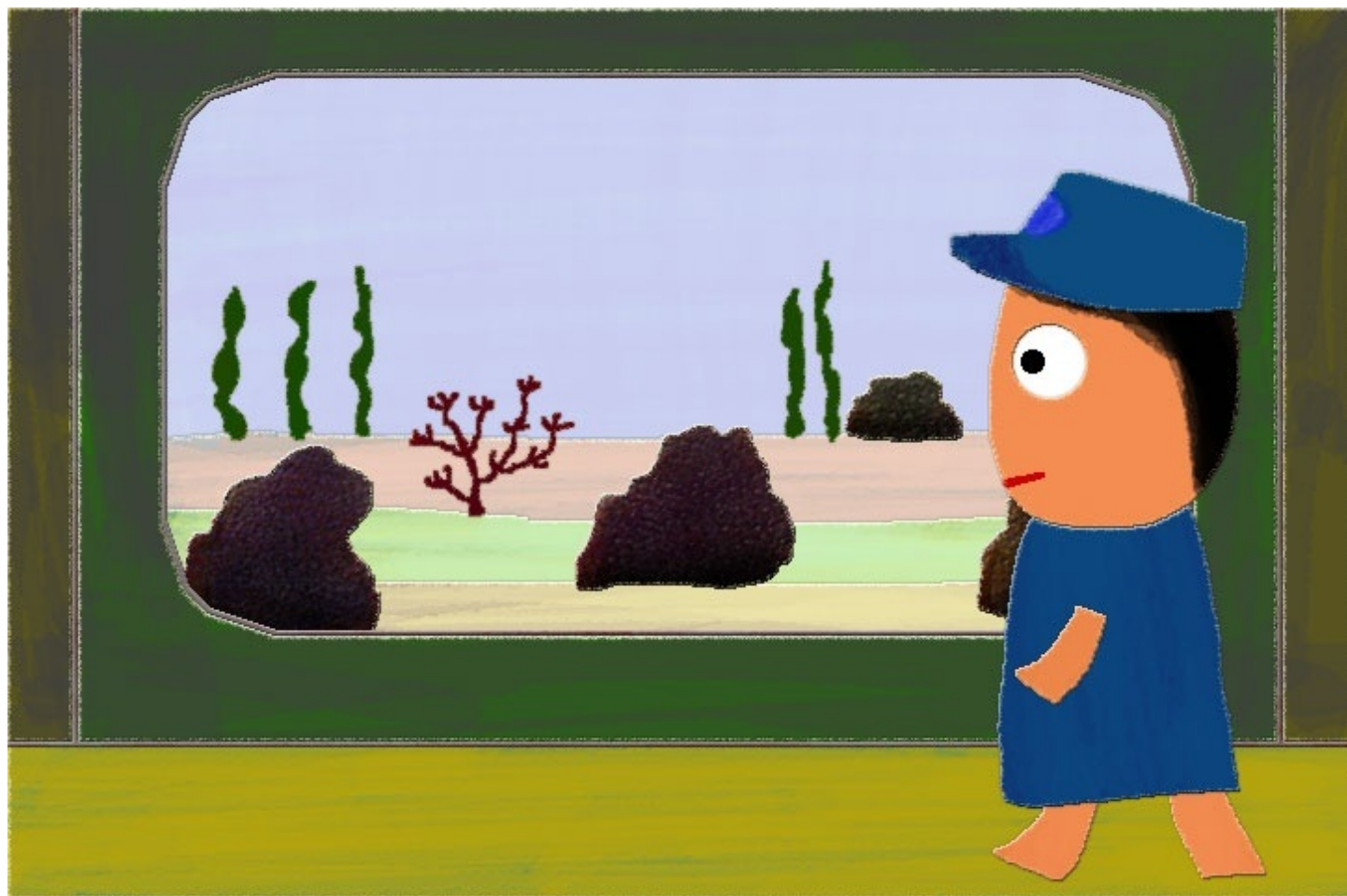
Thus, the octopus finished up his whole body; skin, brain, stomach, every parts, all over, entirely.

かくして蛸は、彼の身体全体を食いつくしてしまった。

外皮から、脳髓から、胃袋から。

どこもかしこも、すべて残る隈なく。

完全に。



A certain morning, a keeper unexpectedly came there.

At that time, the tank was empty.

The clear salt water of indigo blue and the soft seagrass were wavering beyond the dull and dusty glass.

The creature no longer appeared anywhere at the rocks.

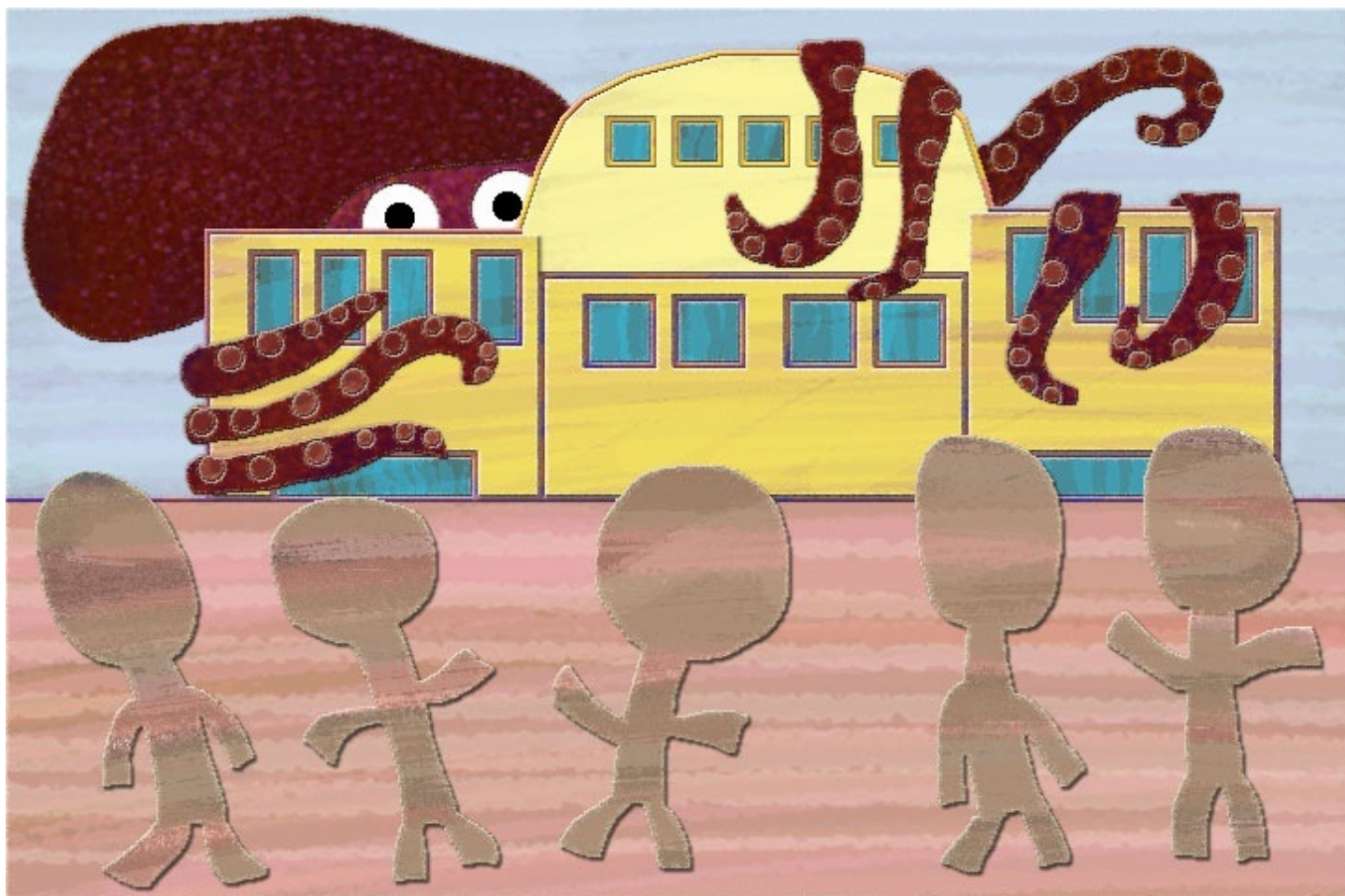
The octopus vanished actually and perfectly.

或る朝、ふと番人がそこに来た時、水槽の中は空っぽになっていた。

曇った埃っぽい硝子の中で、藍色の透き通った潮水と、なよなよした海草とが動いていた。

そしてどこの岩の隅々にも、もはや生物の姿は見えなかった。

蛸は実際に、すっかり消滅してしまったのである。



However, the octopus did not die.

He disappeared, but even so, he has existed there forever in the old empty and forgotten tank of the aquarium.

Forever --- probably, over centuries --- the invisible creature has existed with certain awful lack and discontent.

けれども蛸は死ななかった。

彼が消えてしまった後ですらも、尚且つ永遠にそこに生きていた。

古ぼけた、空っぽの、忘れられた水族館の槽の中で。

永遠に —— おそらくは幾世紀の間を通じて —— 或る物すごい欠乏と不満をもった、人の目に見えない動物が生きて居た。

(了)

## 後書き

---

改訂について：

英訳文を修正しました。

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 萩原朔太郎詩集：2014年1月15日第79刷発行 選者三好達治 岩波文庫
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：1975年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited
- Longman Study Dictionary of American English: Second edition 2011 Pearson Education Limited

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）
- カクヨム （小説投稿サイト）

- BOOTH （物販サイト）
- エブリスタ （小説投稿サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2016年11月2日発行

2018年9月3日改訂

日本文学英訳化計画 『萩原朔太郎：死なない蝸』

<http://p.booklog.jp/book/110787>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/110787>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト